

# SHO-BOND

土木建築用接着剤

SHO-BOND CORPORATION

## エポキシ樹脂系注入接着剤

### ショーボンド

# グラウト



鋼板接着工法注入用

縦げた増設補強工法注入用

鉄筋埋込み・岩石の落下防止固着用

ショーボンドグラウトは、土木建築用注入接着剤として、強力な接着力をもつ2液混合型のエポキシ樹脂系接着剤です。

床版補強における鋼板接着工法や縦げた増設補強工法に、注入用接着剤として長年使用され、その接着性・床版との一体化には定評があります。

この他、鉄筋やアンカーボルトの埋込み接着、景勝地の岩にみられる風化による欠落やはく落の防止等、使用される用途の広い注入用接着剤です。

**ショーボンドマテリアル株式会社**

## 特 長

- ① エポキシ樹脂特有の強力な接着力により、構造物を一体化します。
- ② 硬化収縮がなく、適度の可とう性をもつため、多少の外力や衝撃・振動にも追従します。
- ③ 耐久性が良好で、硬化後の状態が極めて安定しています。

## 使用方法

- ① ショーボンドグラウトは、主剤と硬化剤に分かれ、ビニール袋に入っており、十分に混ぜ合わせてから使用します。
- ② 主剤と硬化剤の配合は、3：1の重量比割合です。必ずビニール袋の全量を混合して下さい。
- ③ 計量した主剤と硬化剤は、缶またはポリ容器で液状樹脂攪拌機または金ペラ、攪拌棒で充分混合します。
- ④ 混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間（表参照）を確認の上、時間内に使い終る量を混合して下さい。



## 施工法

### ① 表面処理

充分な接着効果をあげるため、施工前に必ず接着面の表面処理を行って下さい。

- A. 接着面のレイトンス、汚れ、錆、塗料、油脂分をディスクサンダー、ワイヤブラシ、シンナーを含ませたウエスなどで取り除きます。
- B. 接着面が濡れている場合は、プロパンバーナー、電気ドライヤーなどで乾燥させます。
- C. 穿孔した場合は、穿孔くずを圧搾空気などで完全に除去、乾燥させます。

### ② 注入パイプの取付けとシール

ショーボンド#101で注入パイプを所定の間隔で取付けながら、注入箇所をシールし密閉します。

シール後、注入圧に耐えられるよう硬化養生します。

### ③ 注入

ショーボンドグラウトを所定の配合比（重量比）で混合攪拌し、注入ポンプにより注入します。注入は、できるだけゆっくり低圧で行います。

最下段の注入パイプより注入を開始し、隣接する注入パイプよりショーボンドグラウトの流出を確認してから密栓し、次の注入パイプに移ります。

### ④ 養生

注入完了後、ショーボンドグラウトが完全に硬化するまで養生します。

### ⑤ 仕上げ

養生後、注入パイプをカットします。必要に応じて、ディスクサンダーなどにより平滑に仕上げして下さい。

## 可使用時間・荷姿

ショーボンド グラウト	冬用(W)		夏用(S)	
	5℃	15℃	20℃	30℃
可使用時間	150分	90分	80分	40分
荷 姿	10kgセット (主剤…7.5kg・硬化剤…2.5kg・各ビニール袋入り)			

\*ショーボンド#101については、別途パンフレットをご参照下さい。

## 社内規格値

試験項目	試験方法	単 位	社内規格値
比 重	JIS K 7112	—	1.13±0.05
粘 度	JIS K 6833	mPa・s	1000～2000
曲 げ 強 さ	JIS K 7203	N/mm <sup>2</sup>	50以上
圧縮降伏強さ	JIS K 7208	N/mm <sup>2</sup>	60以上
圧縮弾性率	JIS K 7208	N/mm <sup>2</sup>	(1.5～3.5)×10 <sup>3</sup>
引 張 強 さ	JIS K 7113	N/mm <sup>2</sup>	35以上
衝 撃 強 さ	JIS K 7111	kJ/m <sup>2</sup>	3.0以上
硬 さ	JIS K 7215	HDD	80以上
引張りせん断接着強さ	JIS K 6850	N/mm <sup>2</sup>	10以上

■備考：試験条件は20℃、7日間です。

## ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<http://www.sb-material.co.jp>

### ●取扱い営業所